

II 学校経営方策

1 学校経営の基本方針

- (1) 憲法ならびに教育基本法、学校教育法、その他諸法規の精神及び、山北町の教育方針に則り、児童の実態、保護者・地域社会の願いをふまえた教育の推進に努める。
- (2) 学習指導要領の基本理念に基づき、確かな学力を土台とした生きる力を育む教育を推進する。
- (3) 学校・家庭・地域社会との連携を密にし、地域に根ざし、地域に開かれた特色ある教育活動を推進する。
- (4) 教職員としての使命感と情熱を持ち、常に研鑽に励み、互いに信頼、協力し合って教育目標の達成に向かって努力する。
- (5) 人権教育の理念を根底に据えた、知・徳・体の調和のとれた人づくりに努める。

2 学校教育目標

人間尊重の精神をもとに、自ら学び続ける意欲を持ち、たくましく生きることのできる子どもを育てる。

☆めざす子供像

- (1) 自ら学ぶ意欲を持ち、深く考える子（知）
- (2) 思いやりの心を持ち、助け合う子（徳）
- (3) 情操豊かで、美しさを感じとる子（徳）
- (4) 健康で気力あふれる子（体）

3 川村小学校のキャッチフレーズ

◎笑顔いっぱいの川村小学校

一人ひとりが、がんばる何かがあり、それを支える仲間がいる
学級・学校を創ろう

川村小学校は、人権を大切にしている学校である。人権とは、「誰もがいつでもどこでも幸せに生きることができる権利」のことである。

言うまでもなく、人権とは、他者との関係で成り立つ。学級をはじめ、学校生活全体の中で、自らの大切さや他の人の大切さが認められていることを子ども自身が実感できるようにすることが大切であり人権教育の基盤になる。

子ども一人ひとりが、学級の中に居場所があり、自分の存在感を感じることを大切にしたい。それは、自分で何かがんばることがあり、それを仲間が応援し、達成できたときに共に喜べる関係を自覚したときであろう。そんな学級・学校を創ることができた時、子ども一人ひとりが、自らが一人の人間として大切にされているという実感を持つことができる。

児童一人ひとりはもちろんのこと、職員一人ひとりもがんばるなにかを持っていたい。そのがんばる姿を支える職員集団でありたい。そして、児童も職員も笑顔あふれる学校作りに取り組む。